



# 矢部小だより

文責 徳山 晴一

## 水の大切さについて学んだ大杉自然塾！

9月13日（水）に、3年生と4年生を対象に「大杉自然塾」が行われました。「大杉自然塾」の目的は、①自然に親しみ、自然のよさや大切さを知ろう②友達と協力し合い、めあてをもって進んで活動しよう③感じたことや学んだことを絵や文にあらわそう、の3つです。

まず、みやま市中之島公園で、筑後川河川事務所の皆さんの指導で、矢部川の水質調査を行いました。子ども達は班ごとに矢部川に入り、石の下にいる生き物を集めました。集めた生き物の種類を河川事務所の方に教えてもらいながら、生き物の種類と数を調べ、きれいな水に住む生き物が多いことを発見しました。また、パックテストを使った実験や水の濁り具合についても調べ、矢部川は、魚が住みやすい川だということを知りました。最後に、河川事務所の方から、「矢部川は、県内でも1・2位を争うきれいな川です。」という話を聞き、納得した表情でした。

次に、筑後市の矢部川浄化センターで下水処理場の働きを学習しました。係の方から、浄化センターの仕組みを説明してもらったり、実際に下水がきれいになる様子を見学したりしました。子ども達は、濁って臭かった下水が、「活性汚泥」（かっせいおでい）の働きできれいになっていく様子を見て、とても感心していました。

子ども達は、第1回大杉自然塾を通して、矢部川の美しさや大切さ、自分たちが使っている水の処理についてしっかりと学ぶことができました。お世話いただいた塾長の松尾重根先生やサポートしていただいた栗原矢部公民館長様、矢部支所の鍋田・轟様にお礼申し上げます。



【矢部川の様子】



【石の下の生き物の採集】



【生き物の種類と数を調べる】



【パックテストの実験】



【下水の臭いを調べる】



【きれいになった水】



## 学校司書の先生が交代されました！

昨年の10月から学校司書をされていた木村千穂先生が9月22日（金）に退任されました。一年近く矢部小学校の図書室の担当をしていただき、大変ありがとうございました。9月25日（月）からは、育児休暇をとられていた片山絵里子先生が復帰されました。

昨年8月より出産休暇と育児休暇をいただいていた学校司書の片山です。皆様の温かいご配慮と心遣いのお陰をもちまして、息子に寄り添い成長を見守ることができました。長い間ありがとうございました。9月25日に職場復帰し、1年ぶりに会った矢部小の子ども達の人なつっこさと可愛さに目を細めているところです。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「白馬の媛」の練習が始まりました！



今年で24回目となる八女津媛伝説（朗読劇）「白馬の媛」の練習が始まりました。オリエンテーションとして全校児童で「白馬の媛」のDVDを視聴し、担当の廣田先生から説明を聞きました。

この朗読劇は、矢部村の名誉村民である劇作家 栗原一登先生によって脚本が書かれました。そして、この「白馬の媛」の初演に当たり、栗原先生から次のようなメッセージが寄せられています。「この作品は、矢部村の子どもの方々のわたしの贈り物です。いきいきと、自由に、楽しく、どこかで見ていらっしゃる八女津媛様に喜んでいただけるように演じてください。わたしは、同じ産土（うぶすな）のあなたの協力で、この劇が矢部の誇りとなるような、舞台になることを願っています。」栗原先生は、初演の一ヶ月後に亡くなられ、この「白馬の媛」が遺作となりました。栗原先生の願いや矢部小学校の伝統を受け止め、全校児童が精一杯演じられるよう練習に取り組んでいきたいと思っております。

【栗原一登先生】

今年の「白馬の媛」の発表は、11月5日（日）の午後、おりなす八女で行われる「八女市教育の日」で発表する予定です。



## 「自主学習」に取り組もう！

学校で学習したことを確実に定着させるためには、家庭での復習（宿題）が大切です。担任の先生から出された宿題は、必ずやり遂げさせて下さい。また、未来を生きる子ども達には、主体的に学習する意思と態度を身に付けることが必要です。このことから、矢部小学校では「自主学習」を充実させようと、9月12日には「家庭学習の手引き」を使って1年生から6年生まで一斉指導を行いました。家庭でも、子ども達の家庭学習の姿や内容に関心を持っていただき、見届けや励ましをお願いしたいと思います。

最近、老松神社の近くにある民家の床下にたくさんのスズメバチが入り出しているのが見つかかり、通学路を変更しました。これから、スズメバチの活動が活発になります。十分注意してください。

